

with コロナの今だからこそ、子どもたちに届けたい。

「学校以外の場でも子ども達を受けとめるよ」「社会全体で子ども達を見守っているよ」

子どもの自殺防止のために全国150カ所以上が手を上げる！

#学校ムリでもここあるよ2020 キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休校、夏休みの短縮は子どもたちにも大きな混乱をもたらしています。#学校ムリでもここあるよキャンペーンは、今年も子どもたちがどこかで生きづらさを抱えた時の第3の居場所を特設サイト (<https://cocoaru.org/>) 上で紹介します。

政府の「2019年自死対策白書」によると、全世代の「自死者総数」と「自死死亡率」は減少していますが、10代の自死は2010年以降増加し続けています。特に夏休み明けの若者の自死率が高く、学校という場が、ある子ども達にとって死を選ぶほどの心の負担になり、また周囲にそのことを相談できる関係がないことが感じられます。学校に行きづらさを抱えながら通っている子が中学生の約1割程度存在していることも、最近の調査でも明らかになっています(2018「不登校傾向にある子どもの実態調査」日本財団)。

「逃げてもいいよ」とマスコミからも聞かれるようになりました。でも、子ども達はどこに逃げればいいのか？相談する人や居場所がない、学校に行くのがつらい、生きづらいと考える子ども達に、私たち大人は何ができるのでしょうか？

そこで私たちは、学校や家庭以外でも、安心できる居場所や相談場所があることを特設サイト (<https://cocoaru.org/>) で紹介する形で、「学校以外の場でも子ども達を受けとめるよ」「社会全体で子ども達を見守っているよ」というメッセージを子どもたちや社会に伝えていきます。

キャンペーン概要

①オープニングイベント「居場所のちから～大丈夫のタネをまこう」の開催

《日時》2020年8月22日(土) 14:00～16:30

《場所》お茶の水エデュケーションプラザ(EDUPLA)

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティアカデミア 5F)

《内容》特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠 氏 と
川崎市こども夢パーク所長、フリースペースたまりば理事長 西野 博之 氏の 対談

《参加申込》<https://cocoaru.org/news/opening-event2020/> より

※当日はオンラインでライブ動画を配信します。詳細は上記をご確認ください。

②学校、家庭以外の居場所や相談場所の特設サイト「cocoaru.org」の開設

《期間》2020年8月17日(月)～9月12日(土)

《内容》キャンペーン期間中に、居場所の開放、対面・電話・オンライン相談、食事の提供などを行う団体の情報を特設サイト (<https://cocoaru.org/>) 上で紹介する(※サイトへの登録は、#学校ムリでもここあるよ2020 キャンペーン実行委員会団体および協力団体の会員等に限り)。

③クラウドファンディングの実施

本キャンペーンの運営費用は全て寄付で賄います。50万円を目標にクラウドファンディングに挑戦します。クラウドファンディングページ：<https://camp-fire.jp/projects/view/313268>

主催：#学校ムリでもここあるよ2020 キャンペーン実行委員会

協力：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター、一般社団法人全国食支援活動協力会

<#学校ムリでもここあるよ2020 キャンペーン実行委員会 概要>

《構成団体》

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ (<https://musubie.org/>)

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 (<http://bouken-asobiba.org/>)

FUTURE DESIGN (多様な学びプロジェクト) (<https://www.tayoumanabi.com/>)

特定非営利活動法人フリースクール全国ネットワーク (<https://freeschoolnetwork.jp/>)

《本キャンペーンへの問い合わせ先》info@cocoaru.org (江川、生駒)